



はな組だより

臼井幼稚園

令和6年12月16日
発行

今年は急に真冬が到来したまま居座り続けています。インフルエンザもそろそろ東京で流行し始め、近隣の小学校では学級閉鎖との情報が。せっかくの冬休みに罹患しないよう、手洗いうがいの徹底とあいうべ体操をご家庭でもぜひ食事前に実践してください。

<お詫び>

2年連続、この時期に、こんなお詫びを書くのは何の因果かと思いますが、にじ組の担任が体調を崩し、少し前から休んでいます。12月中は休職とし、1月からの復帰を見込んでいます。2学期はあと僅かですが、にじ組は伊東恵理がしっかり守ります。3学期の復帰が難しい可能性を加味して、発表会のピアノの練習もはじめていますので、ご安心ください。

<バザーの純利益のご報告>

純利益は298,456円でした。
この収益で各クラスに新しいブロックを197,340円で購入しました。残りは幼稚園で子ども達のために有効に使わせていただきます。バザーへのご寄付、SOSの皆さまのご協力、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

<エジソン箸の使用を控えてください>

幼稚園にエジソン箸を持ってきて使っているお子さんもちらほらいますが、エジソン箸やその他の補助箸はあくまでもお箸を使い始める子ども(2,3歳まで)のための補助具です。正しい持ち方ができるようにはなりません。

臼井幼稚園では思い切ってエジソン箸を控えてもらうよう、保護者の皆さまにお願いします。子どもは大きくなるにつれて手先が器用になり、細かい作業もできるようになっていきます。使いやすいお箸のおすすめは、六角形のお箸です。

使っていることが当たり前になっていることやものをこの機会に見直していただいただけませんか。

先日、2024年4月長野県佐久市に開校したさやか星小学校を視察に行ってきました。この小学校は行動分析学をもとにして、デジタルツールを駆使した新しい教育を実践する小学校です。創設者は

URAPAGEで時々本のご紹介をしている奥田健次先生です。

「世界でひとつだけの子育ての教科書」

「子育ての本当の原理原則」などの著者です。

「本当に子ども達のためになる教育ってなんだろう？ひとつのものをさして子ども達をジャッジせず、それぞれの強みを伸ばすことに注力することだ」

教育の「あたりまえ」を変えていく、新しいチャレンジをしている学校です。さやか星小学校の掲げる

“マルチものさし”の考え方があたりまえでない今の教育現場を、私自身も疑問に思い、幼稚園を卒園してからの子ども達の行く末を案じているところです。

そして臼井幼稚園で行なっている教育が“マルチものさし”であるかどうか？子ども一人ひとりの価値を引き出し、お互いを尊重しあい、自由な心で生きていけるように、教育できているか？確認したかったのです。さやか星小学校には教育理念に賛同して移住してこられたご家族が半数ほど来ているそうです。こういう特色のある学校が、日本の教育のスタンダードになっていけばいいのに！と思いました。

そして、臼井幼稚園の教育は間違っていない！と確信しました。

よいお年をお迎えください。

園長 志田裕美子

<年中 今月の目標>

健康・・縄跳びや鉄棒に積極的に挑戦する。

人間関係・・誰とでも仲良くする。

環境・・年長への進級に期待を持って生活する。

言葉・・みんなの前で自分の思いを発表し、最後まで静かに聞く。

造形・・三方、壁面、描画、絵手紙

音楽・・<1月>「豆まき」「ここが一番」

「子どもの夢はでっかいぞ」

「おんまはみんな」

<2月>「ゆきのペンキ屋さん」

「うれしいひなまつり」

<3月>「小さな世界」「すすめがサンバ」

<2ページへ続きます>

<担任から今月のメッセージ>

「はな組の劇はアンパンマンに決まりましたー！」
「やったー！！！」

発表会の題材をみんなに発表する前に、いくつか候補の素話をしていました。初日にお話したのがアンパンマン。すると、話し終えた途端、
「私はメロンパンナちゃん役にする！」
「僕はバイキンマン！」と大盛り上がり。

翌日、翌々日、そのまた次の日と4つの素話を終えて、どれやりたい？と手を挙げてもらった時にはラピュタをやりたい子が半数を超えていたので、よしよし！と思いながら、いざ発表の時、まずは冗談でアンパンマンと伝えた時の反応が、半数がまさかの喜びで、ええええ!?そこは「やだー！」じゃないの!?と、思わず転んでしまいました。

気を取り直して、ラピュタをやるよ！と伝えると、それはそれで、喜んでくれる子がほとんどで、改めて絵本を読み、パズーやりたい！シータやりたい！と盛り上がりを見せてくれました。
丁度その時、保育室に来た教員が、「はな組さん発表会何やるの？」と尋ねると、ラピュタが上手く言えないながらも、「ラピタ！」と元気いっぱい、可愛く答えてくれていました。

が…！！
バス待ちの時間に、また別の教員に聞かれた時には、びっくりするほど誰も覚えていないではないですか！
それどころか、
「ん～？アンパンマンかな！」
と悩んだ末にアンパンマンと答える子や
「アンパンマンだよ！バイキンマンの逆襲！」
とサブタイトルまで付けている子がいて、これはもうアンパンマンに変更する必要があるのか!?と一瞬、本気で頭をよぎってしまいました。

翌朝も、ラピュタをやることを覚えている子はほとんどおらず、
「もうアンパンマンやるしかないね！」
なんて冗談を言っていました。いざラピュタの作品作りを始めたら、いつも通りたくさんの意見を出してくれ、ひとつの場面でも一人一人が個性のある表現を見せてくれています。
「え!?大きい組さん!？」と見に来た他の教員に褒められて、ニヤニヤしている程です。

作品作りはまだまだ序盤です。ここから、どんどんみんなで力を合わせて、全員で意見を出し合って、表現を出し合って、ひとつの作品を作り上げていきます。小さい組の時よりも成長した子どもたちを楽しみにしててくださいね。

あっという間に冬休みが来て、はな組のみんなと同じ教室で毎日遊べるのもあと、3ヶ月となりました。3学期は今まで以上にたくさん笑って過ごしたいです。休み明け、元気なみんなに会えるのを楽しみにしています。
良いお年をお迎えください。

長谷川 裕子

